

令和6年能登半島地震による志賀原子力発電所の影響について（第9報）

2024年1月13日
北陸電力株式会社
北陸電力送配電株式会社

志賀原子力発電所は、1、2号機（定期検査により停止中）とも、外部電源や必要な監視設備、冷却設備および非常用電源等の機能を確保しており、原子炉施設の安全確保に問題は生じておりません。また、発電所に設置しているモニタリングポストの数値に変化はなく、外部への放射能の影響はありません。

1月12日にお知らせした、志賀原子力発電所に送電する赤住線(66kV 1回線)において確認された、絶縁用碍子の欠損（1箇所）、ジャンパ線（鉄塔前後の碍子装置間をつなぐ電線）の素線切れ（1箇所）の交換作業について、本日（1月13日）7時25分に着手し、11時47分に完了しました。

この補修の完了により、外部電源3回線（赤住線(66kV 1回線)および志賀原子力線(275kV 2回線)）が受電可能な状態に復帰しました。

引き続き発電所設備全般の詳細な点検を継続し、発電所の安全確保に努めてまいります。今後、詳細な点検の過程で新たな不具合が確認された場合は、お知らせしてまいります。

以上